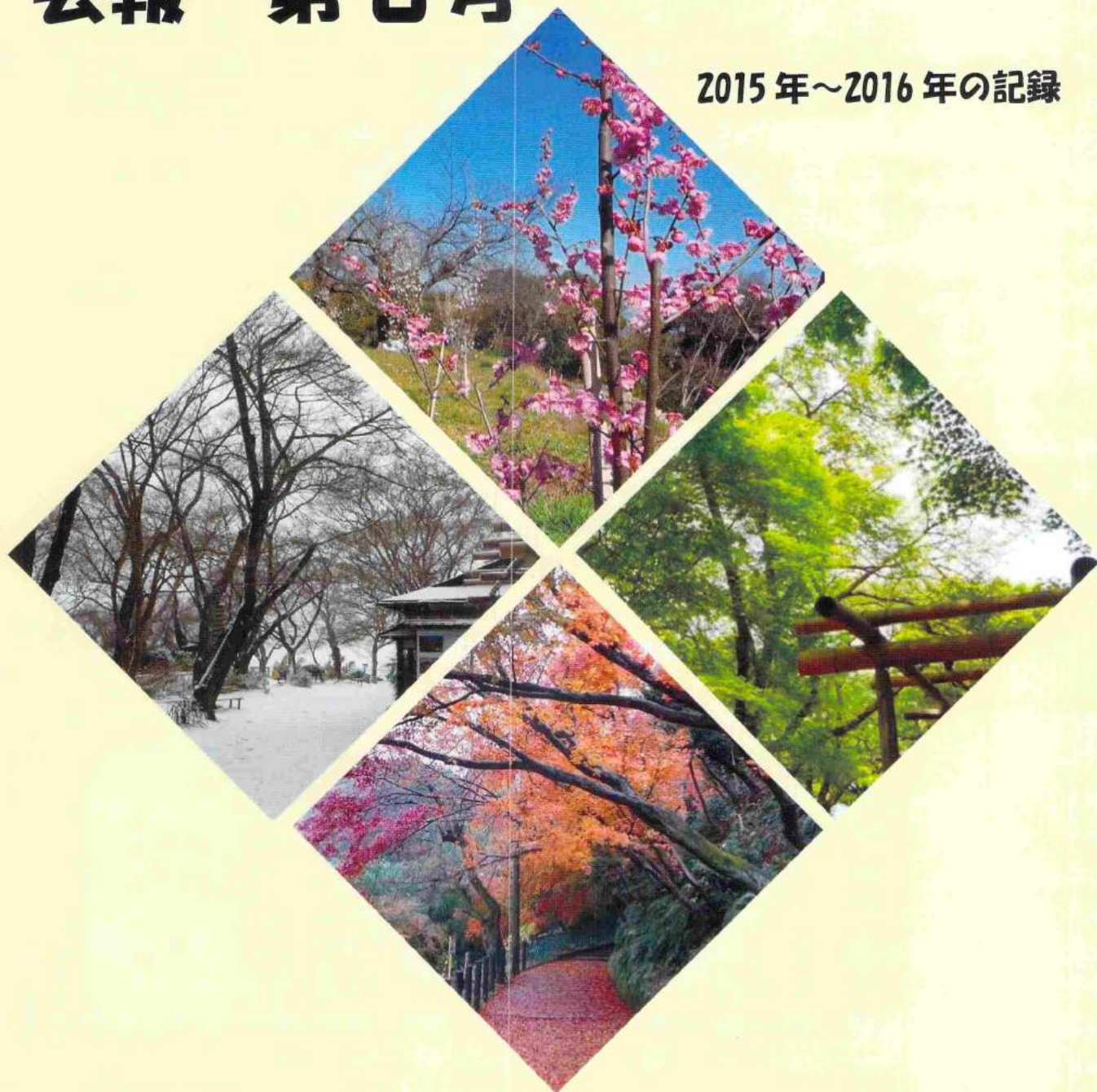


NPO 法人八幡たけくらぶ

会報 第七号

2015年～2016年の記録



竹に親しむ仲間の活動記録

**創ろう！自然豊かな環境・
受け継ごう次世代へ！**

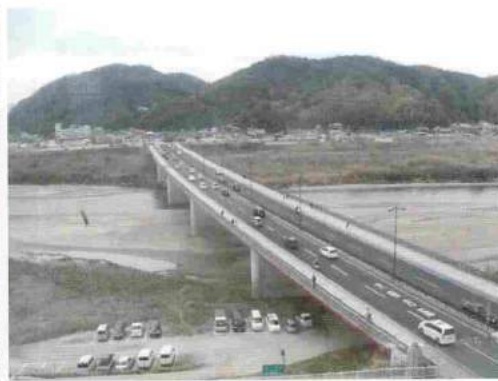
八幡たけくらぶ

活動基本方針

- 1 八幡市及びその周辺の里山あるいは竹林を、本来の景観に取り戻し、竹林と雑木林の共生を図り、かつ維持するようにボランティア活動をする事。
- 2 里山あるいは竹林の所有者との合意に基づき、景観保全のために以下の活動を行う。
 - ① 該当地区の植生調査、生態観察
 - ② 竹林の間伐、除伐、下草刈り作業
 - ③ 廃材の処分及び有効活用
- 3 廃材としての竹材の有効活用を通じて、環境保全を図るために次の活動を行う。
 - ① 竹炭・竹酢液の製作とその環境保全への利用並びにその利用方法の研究
 - ② 竹を通じて里山の自然に接し、学校教育や地域の子供会行事等への支援活動
- 4 会員は上記活動のために、里山管理・竹林管理・竹細工などの基本を学び、作業を通じて技術の習熟と蓄積に努め、かつ会員相互の親睦を図る。

4つのお役立ち

1. 竹林整備活動を通じて、里山の環境保全にお役立ちする。
2. 地域奉仕活動を通じて、まちづくりにお役立ちする。
3. 竹細工教室を通じて、子供の健全育成にお役立ちする。
4. 会員の「やりがい」や「生きがい」の場を提供する。



目 次

	ページ
はじめに	1
会報7号発刊に寄せて／堀口八幡市長	2
会報7号発刊に寄せて／京都府山城広域振興局	3
竹林整備活動	4
安全活動の取り組み	11
活動拠点の取り組み／男山展望台	13
たけくらぶ主催三大イベント	16
同好会活動	19
過去2年間の活動記録	23
会員の親睦	27
マスコミ・報道（TV, 新聞, 他報道）	30
会員の広場	32
活動実績・集計表	35
過去2年間の各委員名簿	36
過去2年間の在籍者名簿	37
編集後記	38





はじめに



理事長 森脇 勉

「八幡たけくらの誕生」

八幡たけくらは、2002年4月に八幡市教育委員会の呼びかけで「男山の自然観察と植生調査のボランティア活動」に参加したのがきっかけとなり、発足したものです。参加メンバーが、放置竹林の実態を目のあたりにして「このままでは男山の自然の生態系が崩れる！竹と樹木を共生させる活動が必要」と感じ、有志5人が集まり「八幡たけくら」を立ち上げました。

2009年2月にはNPO 法人設立総会がもたれ、会運営をスムーズにするための組織化や、会議の設定、内部規定・細則も制定さ

れ、初年度28名からスタートした「たけくら」も68名となり、その後、2014年には念願の三桁の会員数までになりました。現在では、会員も八幡市のみならず、滋賀県、奈良県、大阪府、遠くは熊本県、千葉県、栃木県にまで広がり、年齢も22歳から82歳までの111名までになり幅広い階層の集団に発展してきました。

「山桜救出大作戦から14年」

私達の活動理念である「自然環境を守るべく」主たる竹林整備活動は、神應寺の竹林整備から始まり、マスコミにも取り上げられました「山桜救出大作戦」が活動の原点となっています。それから満14年が経過しましたが、活動拠点も今や8地域・13か所の竹林を任せられ、面積も8ヘクタールを超えるまでになってきました。我々のようなNPOが人員を増やしながらか、10年以上活動が継続し、なおかつ発展していることはめずらしく、誇りに思います。これも理解ある地権者や、行政関係者・報道関係者・文化協会関係者の皆様のご協力と共に、諸先輩のご努力と、会員相互の絶大なる協力の賜物であるといえます。

私が4年前理事長を仰せつかった際に、「たけくら」の継続と発展のためには、何を大切にしないでいいのかを考えたとき、設立趣意書に記載されていた理念ではないかと思い、それを「3つのお役立ち」として表現してきました。今日では4つのお役立ちを掲げ、活動を進めてきております。

歴史を積み重ねても変えてはならないものと、時代と共に変えなくてはならないものをきちんと峻別していかなくてはなりません、この会報から歴史を学び設立の思いを継承していきたいと思っております。

「会報発行」

たけくら発足以来2年ごとに「会報」をまとめ、すでに6号まで発行してきております(会報1号～6号は八幡市図書館、男山市民図書館で閲覧できます)。今回2015年～2016年の記録をまとめた会報7号を発行する運びとなりました。この会報のおかげで、新入会員もたけくらの歴史や、活動内容が良く分かり、たけくらになじみやすくなっていると思われます。良き伝統は語り継がれて守られるものですが、その役割も果たしているといえます。

又、会員拡大のツールとしても重宝しておりますが、是非多くの方々に目を通して頂ける様取り組みたいものです。そしてこの会報が多くの仲間を増やすように活用していきたいと思っております。

会報7号発刊に寄せて

NPO 法人八幡たけくらぶ 創立15周年並びに会報第7号のご発刊おめでとうございます。

平成14年4月、「男山の自然生態系を守っていく」という信念のもと発足され、これまでから男山散策路周辺の竹林整備など、竹と樹木が共生できる里山の再生に力を注いでいただいております。更に、男山展望台周辺の環境整備、竹細工の制作・販売などを通じての観光振興、各種イベント時での竹細工教室開催など、地域活動に大きく寄与していただいております。

私のまちづくりの基本は「市民協働」です。市民、NPO 法人、民間事業者などと行政が対等の立場で意見を尊重しあい、協力し、共通の目標に向かって行動することが大切です。皆さんの活動は「市民協働」の最たるものだと思っております。

地域コミュニティの力が弱くなるなかで、少子高齢化と人口減少の進行という状況では、コミュニティ活動を担う人材の育成、確保とともに、それぞれに生きがいをもって活動していただく場が大切なものとなります。

平成21年1月には、NPO 法人として認定され、市外からの会員も獲得されるなかで、最近では、八幡市子ども会議にも支援をしていただくなど、その活動の場を広げておられます。

八幡市は、本年11月1日に市制施行40年を迎えます。未来を生きる世代が安心して暮らせるよう、今を生きる私たち世代が責任を全うし、これまでの実りを振り返り、それを活かした新たな一歩のスタートの年だと考えており、皆様の一層のご助力をお願いします。

結びに、八幡たけくらぶの皆さんが、“たけ”を中心に、自然環境保全活動をはじめ、観光、地域交流など多方面の活動を更に展開されますことをご祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



会報7号発刊に寄せて



京都府山城広域振興局農林商工部
森づくり推進室・室長
臼杵 隆志

NPO 法人 八幡たけくらぶ会報第7号の発刊おめでとうございます。

八幡市の竹で、まず思い起こしますのは、トーマスエジソンが発明した電球のフィラメントに男山周辺の竹が使われたことであり、地元八幡市の竹が世界的な発明に大いに寄与したことは、大変誇らしく思います。

さて、私は、これまで京都府職員として、北は丹後から南は京都市まで多くの地域で勤務してきましたが、ここ山城地域には昨年初めて赴任したところです。そこで、まず感じたことは、この地域では森林に関するボランティアの方が非常に多く、各地で積極的に活動されており、皆様の森林や環境に対する意識が非常に高いことでした。

また、京都府では平成18年から京都モデルフォレスト運動に取り組んでいるところですが、山城広域振興局管内でも毎年1,500名を超える企業やボランティアの方々に参加いた

だき、人工林をはじめ竹林の整備にも取り組んでいただいていることから関心の高さがうかがえます。

そのような中、八幡たけくらぶにおかれては、2002年に会を立ち上げられ、100名を超える会員の皆様が、竹林の整備のみならず黒竹林の再生や竹を使った環境教育など竹に関する様々な活動に取り組まれていることに対しまして、非常に心強く、また、敬意を表するものであります。

皆様ご存じのとおり、現在では放置された森林や竹林が府内各地に広がっており、森林のもつ多面的機能の維持・増進が大きな問題となっています。京都府としましても、昨年京都府で開催された第40回全国育樹祭を契機に、今後もしっかりと森林を守り育て、府民の貴重な財産である森林資源を次世代に継承していくこととしておりますので、引き続き八幡たけくらぶの皆様のお力添えもお願いしたいと思っております。

結びに当たりまして、八幡たけくらぶの皆様のお健勝と御活躍、そして男山の美しい森林が末永く続きますことを祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。





竹林整備活動

スマホやタブレットが氾濫する昨今、人は下を向き画面を眺めながら生活する人が多くなってきました。そんな中、某テレビ局の番組で、ユーターン、アイターン後に自然の中で自然を満喫しながら生き生きと生活している人々が放映されているのを見ると何かしらホッとします。

放置竹林を整備し、樹木林と竹林がバランスよく生育する本来の森や里山の姿を取り戻す事により大切な自然を保護し、活性化するために私たち八幡たけくらぶは日々活動しています。

八幡たけくらぶの竹林整備活動フィールド



各フィールド(竹林・活動拠点)の活動開始年

符号	活動場所	活動開始年
A	神應寺フィールド	2003年9月～
B	小谷フィールド	2006年3月～
C-1	上林第1フィールド	2007年5月～
C-2	上林第2フィールド	2007年5月～
C-3	上林第3フィールド	2011年1月～
D-1	島田第1フィールド	2009年12月～
D-2	島田第2フィールド	2009年12月～
D-3	島田第3フィールド	2014年9月～
D-4	島田第4フィールド	2016年4月～
E	石清水フィールド	2011年1月～
F	展望台フィールド	2014年6月～
G	本妙寺フィールド	2014年2月～
H	内里フィールド	2016年9月～

注:符号(A~H)は前ページのフィールド場所を示す

多くの地権者の皆様のご協力により2003年から放置竹林の整備を開始しました。まず、神應寺フィールドを手始めに、2006年小谷フィールド、2007年上林第1・第2フィールド、2009年には島田第1・第2フィールドが加わり、2011年には石清水八幡宮第2駐車場近辺及びその尾根伝いに連続する上林第3フィールド、2014年には本妙寺フィールドと石清水八幡宮・展望台周辺、島田第3フィールドと活動範囲が拡大してきました。更には、2016年に島田第4フィールドと内里フィールドが加わって現在の竹林整備エリアは約8.4ヘクタールにまで達しています。また、新しい粉碎機も導入され、竹を砕く切れ味も一層鋭くなりスピード感が出てきました。

各フィールドには、それぞれに地形や竹林の状態、そして竹の種類等特徴があります。そこで、各フィールドの特徴を生かした竹林整備が必要になってきます。

A・B : 神應寺・小谷フィールド

八幡たけくらぶの竹林整備活動の出発点となったこもれびルートの神應寺竹林は、定期メンテナンス作業のみとなりました。

活動開始から10年を経過した小谷フィールドでは場所によって雑木林に竹がはびこる状態が出てきていましたが、大半のエリアでは竹の伐採もほぼ終了し、活動も定期メンテナンスのみの状況になってきました。急斜面が多いところは、作業道路を作ったり安全ロープを張ったりして作業道の整備に取り組みました。頭を悩ませるのは階段の雑草です。毎年整備していますが手が掛かります。除草剤が雑草処理にかなり貢献しています。小谷フィールドでは竹の粉碎ができませんので、竹が若いうちにできるだけ処理をしていかなければなりません。



小谷フィールド(フィールドリーダー: 渡邊 勉)

新しいアクセスルートの開発により、小谷竹林までの距離は短くなり、石清水八幡宮の空き地・西尾さんの駐車場・市営駐車場の利用可等で大変便利になりました。階段途中からは眼下にケーブルの発着、前方には三川合流の御幸橋並びにさくらであい館、鉄道ファン必見の京阪電車の鉄橋、はるか彼方には東山連峰が目飛び込み、絶景です。竹林斜面は道づくり整備完了、上下に固定ロープを取り付け安全面にも配慮しています。

これからの高齢化社会は「きょうよう」と「きょういく」が大切とか。「今日用がある」「今日行くところがある」を意識して小谷フィールドの筍掘り、竹林整備にご参加下さい。

C-1・C-2 : 上林第1・第2フィールド

2007年度の活動開始から下草刈りと枯竹の伐採を中心に活動を進めてきました。今後も定期メンテ活動を継続して取り組まなければなりません。特に5月から7月にかけて、下草刈りは定期活動日以外にも検討する必要があります。ひだまりルートに覆いかぶさった竹の処理も行いました。



上林フィールド（フィールドリーダー:大塚 萬次郎）

上林フィールドの第1・第2は竹林整備を始めて10年になります。今では公園の様に美しい竹林となり、昆虫や野鳥の棲みかになっています。第3フィールドは石清水八幡宮の第二駐車場から尾根伝いに「せせらぎルート」へ降りて行く広い竹林です。ここは急斜面で、足を踏ん張りながらの竹林整備は体力勝負ですが常に安全第一を心掛けて活動をしています。第2フィールドの大木の根元でいつもポインター犬(置物)が迎えてくれるので楽しく元気に活動ができます。

C-3 : 上林第3フィールド

石清水八幡宮の第2駐車場からせせらぎルートを見下ろして右側斜面の上林第3竹林と左側斜面の石清水竹林とを整備してきました。上林第3竹林も急斜面でとりわけ太い孟宗竹が茂っていて、枯竹処理にも一層慎重にならなければなりません。石清水竹林は地面が柔らかく整備する際には普通以上に足場を確保して整備に当てる必要があります。どちらも整備するのに難易度の高い竹林です。日頃の手入れでずいぶんきれいになってきましたが、毎年枯竹が新しく出てきますのでその伐採と粉碎を継続していく必要があります。



石清水・上林第3フィールド(フィールドリーダー:熨斗 信治)

石清水八幡宮の第2駐車場を集合場所として、活動場所は駐車場周辺の八幡宮竹林と尾根伝いに隣接する上林竹林で、極めて広範囲に及んでいます。我々は特に駐車場周辺は八幡宮に参拝に来られる多くの人達に少しでも綺麗な竹林をと云う思いを持って活動しています。ここは粉碎活動の可能な数少ない場所となっています。上林竹林は雑木の立ち枯れ「なら枯」による枯れ枝の「掛り枝」や数多くの倒木処理を急務としています。引き続き竹林整備と並行してなら枯対策も実施していかなければなりません。

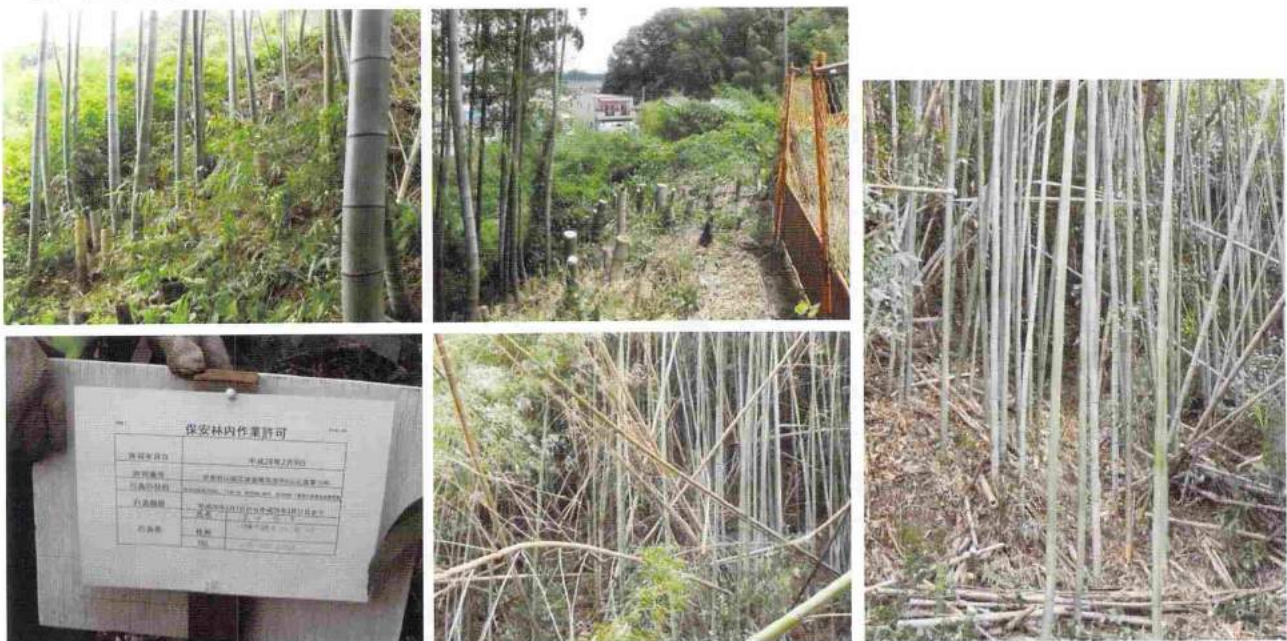
D-1・D-2 : 島田第1・第2フィールド

宅地開発が進められ、第1竹林と第2竹林とに分断されることになりました。第2竹林は真竹林にする計画で進めてきています。真竹の支えとなる孟宗竹を必要な程度残しながら他の孟宗竹を伐採していく活動を進めています。島田竹林では宅地開発により入居者が次第に増えてきましたので騒音問題により粉碎活動ができなくなり、現在は伐採された竹を展望台に運び粉碎している状況です。第1竹林に隣接したクロチクは年を追う毎に増加し、昨年はかなり間伐しました。



D-3・D-4 : 島田第3・第4フィールド

第3フィールドは地権者島田様のご好意により竹林内へ通じる大きな竹林道を整備していただきました。駐車場下の斜面も皆伐する予定ですのでこの竹林道を大いに活用して今後の整備に取り組んでいこうと思います。第4フィールドは保安林に指定されていたのでほとんど手つかずの状態でした。京都府へ竹の伐採申請を行って許可を取り、昨年から手を入れ始めましたが枯竹、横に倒れ掛かった竹、民家の屋根に覆いかぶさった竹などの処理でまだ少ししか整備が進んでいません。



E : 石清水フィールド

石清水八幡宮第2駐車場の西側、即ち駐車場正面の山側の竹林は大分整備されてきました。ここでは竹の粉碎が可能で粉碎機格納場からは最も近い竹林です。しかし、粉碎機が通る山道幅を十分に確保できず、別ルートを整備しながらの粉碎機移動でしたが、新しい粉碎機も登場し粉碎に奮闘しています。昨年は八幡宮の依頼により第1駐車場北側を10m程奥まで皆伐しました。



F : 展望台フィールド

市民参加の一般公募竹林整備場所を小谷竹林から展望台竹林へ2015年度から変更しました。それまでの展望台竹林はたけくらぶ会員といえども手軽に竹林に入れる状況ではありませんでしたので、まず竹林道の整備から始めました。枯竹も無数にあり、処理にも時間が掛かりましたが何とか一般市民が入山できるまでには整えました。一般公募の際は参加者の方々に空き缶、空き瓶、不燃物なども拾っていただきましたが、集まった不燃物は島田さんのご好意により城陽市の不燃物処理場まで運んで頂き大変助かりました。斜面には土砂くずれ防止と景観を良くするため、紅葉の苗、桜の幼木などを沢山植え、2年間の活動で展望台下は竹林も含め見違える様に綺麗になりました。



展望台フィールド（フィールドリーダー：船木 基志）

リニューアルされたウエルカムポールが京都盆地を眼下に見る展望台へと誘います。桜を堪能した後はミツバツツジと紫陽花が目を保養してくれ、晩秋の紅葉で締め括ります。草ぼうぼうの平地は不法投棄物の山で足の踏み場もありませんでしたが、里山再生協議会がもの見事に花梅とあやめと平戸ツツジの菌に作り変えました。樹木も若返りが必要で、30本の若い紅葉とソメイヨシノの幼木10本を植樹しました。将来市民が憩う八幡市の新名所になることうけ合いです。会員一人ひとりの地道な活動で皆が集い喜ぶ男山展望台を作り上げましょう。

G : 本妙寺フィールド

2014年2月から整備を開始した本妙寺竹林はこの3年間の活動でかなり整備されてきましたが、急斜面に生えた淡竹は竹が細く頭が重いためか徐々に前に倒れ込んでいきます。若い竹でも倒れてきますので、枯竹を処理しつつ倒れ掛かった若い竹を急斜面で半永久的に処理し続けています。ここでは竹の粉碎が出来ないため伐採した竹は寸切にして数か所に分けて積み重ねています。交付金関係の査察官が伐採した竹の整備状態を下から見上げて「良くこんな急斜面を整備されていますね。事故の無い様に気を付けて下さい。」と半分驚きながら写真を撮っておられました。



本妙寺フィールド（フィールドリーダー:岡本力）

2014年2月に整備開始。竹林に足を踏み入れたその場所から枯れ竹の密集が行く手を阻む。鬱蒼とした竹林が風の流れを遮り、人の手が入っていない竹林独特の臭いがした。竹林は急勾配で足元の浮石、頭上からの枯れ竹の落下は要注意！周囲のスタッフに安全確認の声をかけながら慎重に足を運ぶ。畳一畳分の整備に一日を要した。急勾配斜面に作った階段は今大活躍している。淡竹の象徴である若い桿の白い粉が太陽の光を受けて輝き参道の参拝者から「キレイな竹林になりましたね」の声かけが嬉しい！「安全第一」をモットーに活動中！



本妙寺の
ロウバイと生花



H : 内里フィールド

2016年9月から始まった内里フィールド。竹の種類も多く従来のフィールドに比べて広く平坦な竹林です。たけくらぶの活動が期待されています。このフィールドは作業がし易いので更に整備エリアを増やしていく予定にしています。倉庫の移転も完了しました。



マダケ林

整備前



整備後



通路

整備前



整備後



倉庫作り



椿展への竹の提供

内里フィールド（フィールドリーダー: 笹倉 修）

2016年秋より新たに整備することになった内里竹林の紹介をします。場所は八幡市内里女谷で東側は第二京阪国道が走っており、南側は新名神高速道路のインターチェンジの建設が始まっています。

面積は2万4千平方メートルありますが、2016年度はこのうち5千平方メートルを整備しました。竹の種類は孟宗竹、真竹、淡竹と種類の多いことが特徴で、また地形はこれまでの竹林よりも平坦で作業が楽ですので是非参加してください。



安全活動の取組み

(期間:2015 年度～2016 年度)

委員長:寶田 延由

私たちの安全活動は、NPO 法人八幡たけくらぶ活動の基本方針内容に基づく、ボランティア活動を行う途上で、不安全作業・不安全箇所などの点検や、会員からの安全上の指摘内容を月一回の安全委員会に取り上げ、活動そのものが安全に！楽しく！効率よく！できるよう対策・実行し、“自分の安全は自分で守る”を基本に活動を展開しています。以下に安全活動の一端をご紹介します。

<安全作業の約束 14ヶ条 唱和活動>

活動日の作業開始毎に、作業中に体験した ヒヤリ・ハットを基に作り上げた「安全作業の約束 14ヶ条」を確認して、安全に対する感受性を高めることにより怪我や事故を未然に防止する活動を展開しています。

<ヒヤリ・ハット体験報告活動>

活動日の作業中に体験した ヒヤリ・ハットがあれば、体験者が作業終礼時に報告し、次回以降の作業に生かす活動を展開しています。体験内容は「ヒヤリ・ハットの体験」報告シートに記載し、安全委員会へ提出して安全委員会で必要な対策を立て、それを実行する活動を展開しています。



<安全講習会活動>

刈払い機の実機講習



竹林での竹伐りや、竹林周辺の草刈等に使用する伝動機具を安全に取り扱うために、定期的に各機具の使用上の注意点・取扱い・安全作業のポイントについての安全講習会を実施。この2年間では、チェーンソーの取扱いについての外部講習会に安全

委員2名が受講し、林災防のDVDビデオ講習内容を安全委員会で報告講習し、各安全委員への水平展開を行いました。更に繰り返しの安全講習活動として、「ボランティアでやる竹林整備の安全作業」及び「ボランティアでやる竹林整備の安全作業」のビデオスライド講習や、刈払い機の実機による取扱い講習も併せて実施しました。



チェーンソー講習会

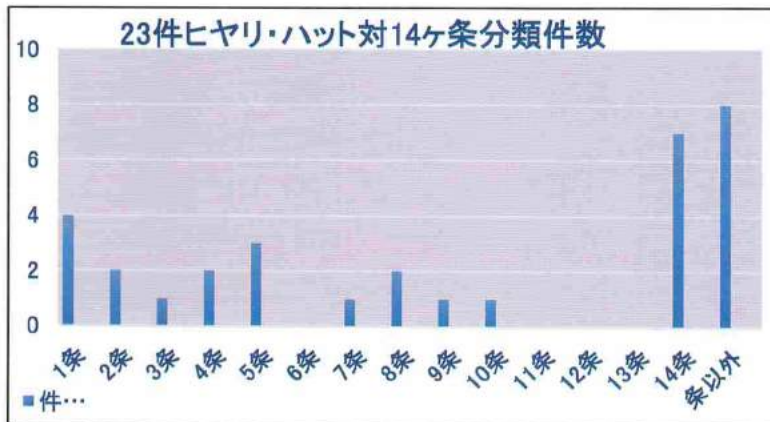
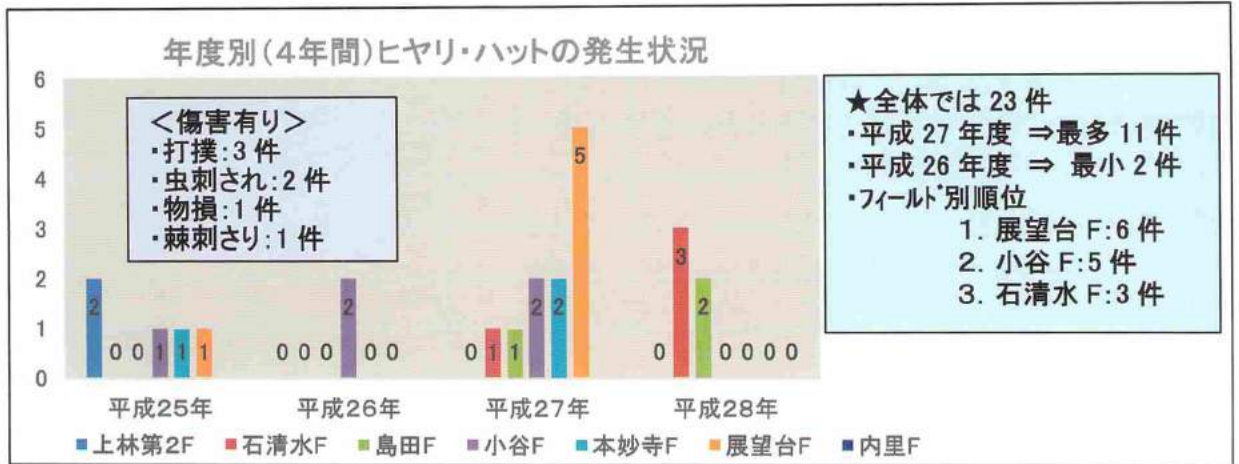


<安全改善活動>

この2年間中に、刈払い機使用による草刈作業で、刈払い機のチップソー回転中に草むらの石が撥ね飛び、駐車中の車のウィンドガラスを割る事故が発生しました。この対策として石撥ねが1m以内に収まる刈刃「スーパーカルマー」を導入し、既存刈払い機のチップソーアタッチメントと交換することで、石撥ねにより予測される人災をも併せて改善することが出来ました。

安全活動実施内容の概況

1. 竹林整備活動 ヒヤリ・ハットの集計



- 安全作業の約束 14ヶ条
- 3～5人のグループ作業の徹底
 - グループ間は20m以上離れる
 - 切り株・岩・石の足掛りは要注意
 - 斜面の作業は上下の位置関係は不可
 - 倒す方向の安全性を事前確認
 - 竹の移動はベルトを使用し二人作業で
 - 切った竹の谷側への暴走予防を計る
 - 懸り竹の分断は上下部分の暴走注意
 - 懸り竹になった瞬間の枯れ枝落下注意
 - 切り倒しの瞬間、株元の跳ね上り注意
 - 湾曲した竹を上から切ると時の注意
 - 支えのロープは60～90度の開き角で
 - 枝払いや枝の始末はゴーグル着用
 - ヒヤリハットや軽微な受傷も必ず報告

～まとめ～

★自分の安全は自分で守る！

★他に危害を及ぼさない配慮！

2. 安全講習活動

(1) 外部講習

- ①チェーンソー外部安全教育講習会の受講
(安全衛生法による特別教育)
- ・講習先 (株)日立建機教育センター京都教習所
 - ・受講日 平成28年4月14日～15日
 - ・受講者数 安全委員2名

(2) 内部講習

- ①第2回刈払い機作業の安全講習 (参加者数:15名)
- ・実施日 平成28年5月30日 DVDスライド及び実機による点検～運転
 - ・場所 展望の館～展望台フィールド
- ★刈払い機使用による石撥ね防止対策として、スーパーカルマーを導入
平成27年9月より使用(駐車場脇～人通り有、人家の周辺)
- ②第2回チェーンソー安全講習 (参加者数:18名)
- ・実施日 平成28年7月15日 DVDスライド及び実機による点検～運転

活動拠点の取り組み(男山展望台)

2012年6月から八幡男山の展望台にたけくらぶの活動拠点として「展望の館」が地権者小谷様のご厚意で開設できました。2016年2月に石清水八幡宮の社殿10棟が国宝に指定され地元の方だけでなく関東や九州、海外の方々も来訪される様になりました。神域に有る展望台としての役割を含め来訪された方々の憩いの場にそして展望の館は八幡たけくらぶの活動拠点として大きな存在となっています。



展望の館 男山展望台整備の継続



2015～2016年には展望の館は 新たなたけくらぶ活動内容パネルを作成掲示、22種類の竹見本を設置、竹細工新販売棚の製作、竹細工展示は来訪者の動線に配慮したレイアウトに変更しました。南倉庫は太陽の明るさが入る屋根にそして床は湿度対策として十数センチ高くし、更に換気扇を設置し竹の保管倉庫に適した空気の流れを作りました。北倉庫も使用器材の整理整頓ができた保管庫へととなりました。広場には丸太を利用して作った椅子やベンチを準備し来訪者の休憩に使っていただいています。展望の館屋根のペンキ塗装を済ませました。

雨天時のぬかるみ対策と地面から出ている木の根っこに躓かないように 砂利を入れ足もとの安全対策にも留意しています。展望の館内の天井ボードの貼り付けやエアコンの設置、そして待望の電話とインターネットの開通と内部の環境も順次整ってきています。





竹細工の作成 展示販売

月に1回会員が講師になった竹細工教室が定例化しています。取得した技術やヒントで個性が発揮された竹細工製品が展望の館に並びます。主に自宅で製作されるのですが展望台に於いても作成できる様に機器を整えて行っています。中でもガリガ

りとんぼの作成機器の導入で多くの会員がたけくらぶ独自の竹細工製品が先輩から伝授され作成できるようになりました。

販売額の一部をたけくらぶの活動資金としてご寄附いただき展望の館の管理費を賄っています。



八幡市男山展望台周辺環境整備事業

(里山再生協議会事業)

男山展望台周辺の竹林を整備し、雑木・雑草を駆除し、来訪者に季節の花を楽しんでもらえるよう、NPO 法人2団体(八幡たけくらぶ・とんかち)に加えて八幡市と八幡市教育委員会からの後援を頂き一般市民の参加を募り、環境保全意識を高め、花樹の庭園を守り育てる運動を展開しています。



平和堂基金(夏原グランド助成金)からの助成金で、展望台周辺に
2015年11月21日に
平戸ツツジを100本、
2016年11月26日に
平戸ツツジを 30本
もみじを30本植樹しました。



春

夏

冬

秋



大変立地の良い展望台ですが当初は雑木が茂り、蔦がはびこり景観を遮っていました。会員の努力で今は眼下に木津川、宇治川、桂川の三川が望め視線の先には京都タワー比叡山そして愛宕山と視界が広がります。植樹したハナウメの開花やアジサイ等四季折々の景観が楽しめるようになりました。2016年に東京の方から下記メッセージが届きました

十数年前に小谷のおばあちゃんに頼まれて展望台庭園管理をしていました。伐木 葛の除去木々の剪定管理をしていましたが現状があまりにも美しくなっているのでビックリです。おばあちゃん求めていた景観になっている活動に敬意を表します 自身にできなかったことを成し遂げられたたけくらぶ様に今後も継続していただきたくお願いしておきます。
東京都から石清水展望台に見えた 島田信一様より



石清水八幡宮・灯燎華（夜間特別拝観）

2015年4月4、5日・2016年5月4日

石清水八幡宮が 勧請されて1140年となった平成11年に初めて開かれ、ロウソクやかかり火で石清水八幡宮本殿や 境内を照らし出し、日本古来の伝統美を堪能していただく行事です。以降、この時期の恒例行事となり たけくらぶはウェルカムオブジェや参道を灯籠でライトアップし催しに協力しています。



たけくらぶ主催三大イベント

八幡たけくらぶは毎年八幡市の後援を戴き、一般公募により市民参加のイベントを3つ主催しています。それらは、

- ① 竹林整備と筍掘り(4月)
 - ② 若竹飾り体験教室(12月下旬)
 - ③ 竹炭焼き(3月中旬)
- です。

竹林整備と筍掘り

年度最初に行うイベントです。2015年度は4月26日に竹林整備場所を小谷フィールドから展望台フィールドに変更して行いました。2016年度は4月17日に前年に引き続き展望台フィールドにて行いました。不法投棄物の回収にも大変ご協力いただきました。



不法投棄物の回収作業後は待ちに待った筍掘りで楽しみました。子供たちは自分の身体と同じくらい大きい筍を抱えてご満悦でした。



手作り若竹飾り体験教室

2015年度は生涯学習センターで、2016年度は交流センターで開催しました。新年を迎える心の準備も含め皆さん一生懸命腕を奮っていました。2016年度は新しい試みとしてミニ若竹飾りを作成して販売しましたところ、大変な人気でした。



先端の鋭角伐り



3本結束作業



鉢への縄巻作業



ミニ若竹飾り



縄巻型完成品



若竹型 鶴見氏作

竹炭焼き

竹炭焼きは窯入れから窯出しまで2日間かけて行います。2015年度は3月15・16日、2016年度は3月14・15日に行いました。お昼にうどんのご馳走があり、これがまた冷え切った身体を温めてくれて何とも言えず美味しいうどんでした。



材料詰め



点火



煙の観察も大切な仕事



窯を砂で覆う作業



竹炭完成品



終わった後が最も重要



お昼を食べて一息入れた時の集合写真

同好会活動

八幡たけくらぶには2つの同好会があります。竹細工同好会と、もう1つは燻竹同好会です。燻竹同好会と言っても燻した竹は竹細工に使用されます。

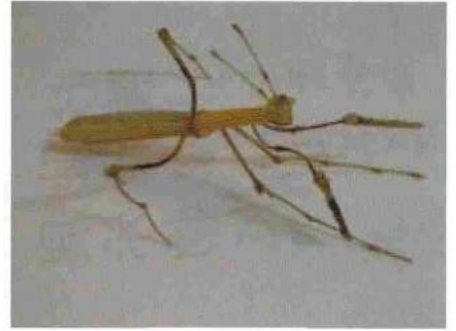
まずは竹細工同好会会員作成の竹細工作品をご紹介します。



カニ



エビ



カマキリ



うぐいす笛



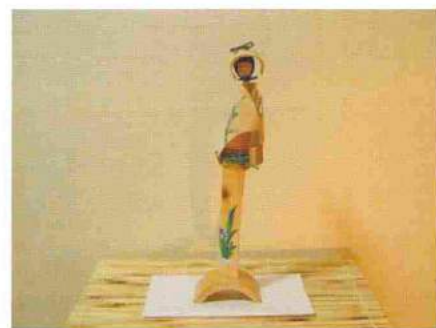
ふくろう笛



風車



汽車ポッポ



人形



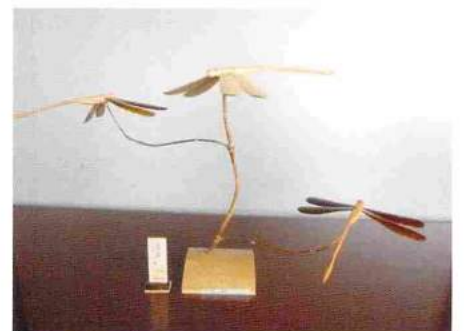
ゲロゲロ蛙



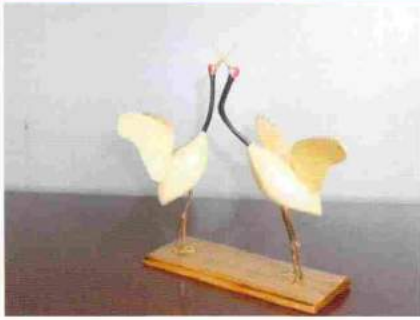
かぐや姫



人形



バランスとんぼ



丹頂鶴



尾長鳥



競走馬



竹炭絵



スマホ立て



あかり(鳳凰)



七福神



カエルの楽団



帆船



薙刀鉾



武者兜(平清盛)

燻竹同好会

2015年度の新しい活動として燻竹同好会が発足し、東さんを中心に燻し窯が作られました。

燻窯作製準備(2016年2月3日)



燻窯完成披露(2016年2月18日)



燻窯の側らに倉庫も完成
(2016年3月24日)

燻窯が出来ると燻竹を使った竹細工作品が続々と登場し始めました。古民家の天井にある煤竹と同じように黒光りする竹に仕上がります。それらの作品の幾つかを紹介します。



燻竹作成(3時間の行程)



処女作(孟宗竹)



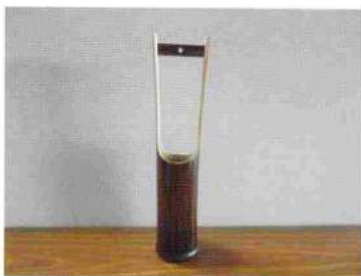
艶のある真竹



ペーパーナイフ



横笛



花器



花器



ろうそく用灯籠



ペンダントライト



招き猫



草庵茶室(松花堂)

過去2年間の活動記録

年	月	主な活動項目	記 事
2015	4	「松花堂・椿展」に竹材料を提供	「椿」と「竹」とが見事にコラボしていました 
	7	「水辺の匠・おもしろステージ」にて竹細工教室開催	南郷水産センター・アクア琵琶 一般参加者:110名 
	7	八幡小学校福祉委員会で竹細工教室	女子の参加が多く、明るく楽しい教室ができました 
	7	城陽市・今池コミセンで竹細工教室	全員でゲロゲロかえる作ったり、竹伐り体験しました
	8	淀川三川合流ふれあい七夕祭で竹細工体験教室を開催	笹竹の提供やガリガリとんぼ・ブンブンせみなどの体験に108名が参加
	8	川口コミセンで竹細工教室	ゲロゲロかえる・竹コップ・竹皿の製作体験行いました 
	8	木津川ボーイスカウト竹細工教室	18名がブンブンせみ作りや竹伐りに挑戦 「展望の館」の見学、竹細工展示品の紹介 
	9	うまいもん祭IN八幡で竹細工指導販売も	ガリガリとんぼ・ブンブンせみ(共に40個)、写真立てが女性にとっても人気・たけトンボも作りました
	10	すまいるやわた祭り	参加者みんなで竹の輪投げや、竹伐り体験を楽しみました
	11	八幡市民文化祭で竹細工教室と販売	ブンブンこま・一輪差し・写真立てなどの製作体験、大盛況！ 

年	月	主な活動項目	記 事
2015	11	再生協議会植樹祭(一般公募)	<p>展望台下の参道脇に100本の「平戸ツツジ」を植樹 一般参加21名・来賓4名・会員21名参加し盛大に挙行</p>    
	12	京都環境フェスティバルに参加 (京都パルスプラザにて)	ブンブンこま(171個)、ガリガリとんぼ(67個)、写真立て(15個)の竹細工体験教室を開催。一般参加者254名。
	12	若竹飾りづくり体験教室	八幡市生涯学習センターで竹伐りや縄縛りに汗を流しました
2016	1	同志社幼稚園竹細工教室	<p>ウグイスふえ、ガリガリとんぼ、ブンブンせみを製作体験 大寒波予報の中、年長・年中・年少合わせて106名の 園児と楽しく過ごせました</p>    
	3	一般公募 竹炭焼き体験	<p>3/15～16の2日間で炭焼き実施、お土産は竹炭・竹搾液</p>   
	4	松花堂「椿展」に竹の提供	<p>今年も竹が椿花の美しさを盛り上げました</p>    
	5	うまいもん祭IN八幡で竹細工指導 販売も	<p>石清水八幡宮・京阪電車・観光協会が主催 写真立て・ガリガリとんぼ・ブンブンせみの竹細工 2枚羽ガリガリとんぼ・ふくろう笛・ゲロゲロかえるなども販売</p>   

過去2年間の活動記録

年	月	主な活動項目	記 事
2016	7	城陽市・今池コミセンで竹細工教室	親子26名参加、みんなで糸引きとんぼを製作   
	7	八幡市青少年補導委員会で竹細工	男山レクリエーションセンターで小学生高学年を対象に ブンブンせみの竹細工教室を開催、 参加者総勢30名で、ブンブンゼミの合唱  
	8	淀川三川合流ふれあい七夕祭で 竹細工体験教室を開催	竹風鈴・ガリガリとんぼ・ブンブンせみの3種類製作体験 幼稚園児が願いを書き、竹笹に飾りつけ！ 一般参加者120名   
	8	城陽市・東部公民館で竹細工教室	小学生高学年4名、低学年10名の皆さんに ガリガリとんぼ・ブンブンせみの竹細工を指導
	10	すまいるやわた2016で竹細工教室	竹の輪投げ・竹伐り体験、一般参加者106名   
	10	八幡市民文化祭で竹細工教室・ 竹細工展示販売	紹介パネル展示・糸引きとんぼ、ガリガリとんぼの製作体験 糸引きとんぼが好評47個、一般参加者57名 干支(酉年)の竹細工も出展    
	11	桂徳ロマンティックナイトに参加	桂徳小学校グラウンドに竹灯籠配置や竹細工教室開催、 父兄も含め72名の方々が、ガリガリとんぼやブンブンせみ を作りました

年	月	主な活動項目	記 事
2016	11	泉自治会竹細工教室	参加者全員でこっぼり作り(35足分) その他にウグイス笛、ブンブンせみ、ガリガリとんぼも作成 当日雨が降ったのでこっぼり歩きは出来なかったのが、残念
	12	京都環境フェスティバルに参加 (京都パルスプラザにて)	ブンブンせみ・ガリガリとんぼ(1枚羽)&(2枚羽)・ペン立てなどの竹細工及び竹伐り体験も 新調した活動紹介パネルを掲示し、アピール 出展の各ブースでも体験型イベントが目立った
	12	若竹飾りつくり体験教室開催 場所:八幡市民交流センター	今回は通常の大きさに加えて、 ミニサイズ若竹飾りを会員で事前に製作し 販売、これが大盛況でした
2017	2	同志社幼稚園竹細工教室	幼稚園の年少さん31名にはガリガリとんぼ、年中さん38名にはウグイス笛、年長さん36名にはブンブンせみをと、何と105名の園児たちに竹細工指導を・・・大変でしたけど楽しい一日でした
	3	一般公募 竹炭焼き体験	3/15~16の2日間かけて体験、たくさん出来ました 竹炭の効能を、もっと広く世間にお知らせしたいですね お昼は皆で暖かい「うどん」を堪能！ 待つ時間で竹細工「花器」も作りました
	3	淀川三川合流「さくらであい館」開館 記念イベントで竹細工クラフト 教室開催	理事長が開館記念式典に参加 竹細工は別会場で、花器・ガリガリとんぼ・ブンブンせみの 体験製作、音の出る竹細工はいつまでも人気一番！！ 一般参加者115名・会員32名
	3	身障者施設「放課後等デイサービス」 にて竹細工教室	今回初めての試みでしたが、施設利用者やスタッフの方々と ガリガリとんぼ・ブンブンせみを、ワイワイがやがやと 楽しく製作することが出来ました



高さ28メートルの「さくらであい館・展望塔」





会員の親睦

ここでは 2014 年～2016 年にたけくらぶに入会された方々(以下の6名)に「親睦五大大行事」について感想やコメントをお聞きしました。それを「参加者の声」として掲載しています。まずは6名の方々のプロフィールを紹介します。

ご期待ください！・・・

小島さん：欽明台
2014.04 入会

石川さん：八幡
2015.12 入会

坪倉さん：中京
2015.10 入会



奥原さん：八幡
2016.04 入会

吉川さん：枚方
2016.01 入会

菅さん：八幡
2015.04 入会

観桜会

会場：展望の館 2015年4月8日(水) 30名参加

会場：石翠亭 2016年4月6日(水) 38名参加

2015年は展望の館で、2016年は 前半・石翠亭で酒宴・食事、後半・展望台での桜鑑賞でした。

2015年
の桜

2016年
の桜



【参加者の声】・・・

- ・展望の館は、準備、片付けは大変だが、出来るだけ協力したい。
- ・準備、片付けのことを考えると、やっぱり石翠亭でよかった。また、イス式がなにしろ良い。

五山の送り火 「よく見えました！！」 会場:展望の館
 「残念ながら霞んで見えず！」 会場:展望の館

2015年8月16日(日) 31名参加
 2016年8月16日(火) 30名参加



2015年は「左大文字」・「妙・法」がよく見えました

2016年は
TVのライブで..



【参加者の声】...

- ・アシ(交通手段)がないので、なかなか参加できない。方法があれば教えて欲しい。
- ・近くの知人も同行してよければ..お誘いしたいのだが。たけくらぶのPRにも....

研修旅行 行先:岡山方面・閑谷学校・倉敷・津山 2015年9月28(月)-29日(火) 38名参加
 行先:郡上八幡・竹材加工見学・下呂・妻籠 2016年9月28(水)-29日(木) 36名参加



2015年

2016年

【参加者の声】

- ・いろいろな人と顔見知りになれて、楽しかった。津山は春の桜も行きたいな。
- ・バスの中の検定は難しかった。..でも賞品あたりゲットしちゃった。
- ・竹を扱っているところ/集成とか加工・改質など工夫しているところも見たいな。
- ・日程が盛りたくさん。天候もめぐまれ(雨もちょっとあったが)..幹事・世話役さんには感謝・感謝！

紅葉観賞会

会場:石翠亭・展望の館

2015年11月27日(水) 35名参加

会場:石翠亭・展望の館

2016年12月2日(金) 36名参加



2015年



2016年



【参加者の声】

- ・イスは楽。でも動きづらい。場所の抽選は最初イヤだったが、2回目からはむしろ良かった。
- ・場所は準備、片付けを考えると石翠亭がよい。
- ・仕事との兼ね合いだが、出来るだけ参加したい。(自分を)知ってもらいたい良い機会。PRができた。

忘年会・新年会

会場:一の谷

2015年12月10日(木) 55名参加

会場:一の谷

2017年1月26日(木) 58名参加



【参加者の声】

- ・会場は送迎のバスが近くまで廻ってくれるので参加しやすい。
- ・座敷だがイスなので助かる。
- ・昼間(新年会)の開催は参加しやすい。
- ・……………(以上、貴重な 感想・コメント を頂き有難うございました。..編集委員)



会員の広場

2015.04 入会 佐藤啓三

2015.04 入会 菅弘明・菅洋子

(八幡市に住まいして「縁の不思議」を教えられました)

八幡市に住いして45年を迎えて振り返ると、教えられる事の多さに感謝する次第で、その中に石清水八幡様と先祖の縁があります。

境内に入って右側の塀の外に、注連縄を巻いた楠があり、此の謂れについて権禰宜の稲垣様から楠正成の手植えの木とお教え頂きました。

八幡市に住まいして当初は、京阪沿線で唯一自然がそのまま残っていた事で、子育てに都合が好いと思い平野山に住いしましたが、古代から重要な役割を果たしていた地域であった事を教えられる事になりました。

縁の不思議に気付いたのは自分の存在を見つめ直すゆとりが出来た事からで、先祖を何処まで遡れるかと思い先祖を遡る事を始めて、育った広島のと八幡の地が和気清麻呂を通して繋がっている事を知り、更に八幡様の境内の楠の謂れから、自分の先祖(村上水軍の大將村上義弘)も南朝の戦力として戦った事を知るに至り、八幡様をより深く知る事になりました。

歴史を遡り先祖を遡って「縁の不思議」を教えられ、それをまとめると一冊の本となりましたが、紙面の都合で機会があればと思っています。

2015.04 入会 中尾修

健康の為、週4~5回野外活動センターからこもればルート、裏参道階段を通り、八幡様にお参りするが、私のいつもの散策コースです。

ある時、帰路たまたま展望台に立ち寄り、先輩方の立派な作品に見入っていると、会員の方から優しく入会の誘いの声をかけられました。

最初は余所者ですからと断ると、どなたでも入会できると言われ、それならと申し込むことになりました。入会最初の活動は「筍掘り」からでした。

しかし、筍掘りに参加してびっくり。昔田舎でやったことがあるので簡単と思っていたが、教えてもらった通りやってみてもなかなか上手いれない。その後は筍探しもやってみたがこれも中々、難しい。この齢になって初めての経験ばかり。最後はお土産、これまたびっくり。なんと土嚢袋満杯の筍それも無料。家で食べれる分を残し、幾らかを知り合いに持って行くと、相手もびっくり。その晩、早速、知り合いから「あんな筍生まれて初めてや、美味しかった」との電話。筍シーズンも終わりしばらくすると、今度は竹林整備のメール。山仕事は田舎育ちなので懐かしい、先輩の指示に従いざっと3時間。ただのハイキングやジョギングでかく汗とまた違い気持ち良い。

こうした年中行事の中には総会をはじめ、いろいろな飲み会や懇親会もあって楽しい。

これらのいずれにも参加したいのですが、いろんな事情があり思うように参加できないのが残念。各種行事に参加できるのも、家族の理解応援があって初めて実現できることです。理事長からは「あんたが最年長やな！」と言われていきますので、健康に十分注意しながら参加したいと思います。これからも宜しくお願いします。

会員の皆さんも体に気を付け、八幡たけくらの発展に貢献されんことを祈っています。

2015.04 入会 林 隆宏

2015.05 入会 生島武美

2015.09 入会 山本玲子

2015.10 入会 坪倉定

京都市中京区に在住の坪倉です。

私が、八幡たけくらぶに入会したのは、平成27年10月でやっと約1年半になります。元もとモノづくりが好きで休日には趣味のDIYを楽しんでいましたが、定年退職を機に本格的に取り組もうと思っていた時に、京都新聞で八幡たけくらぶの活動記事を見たのが入会のきっかけで、その場で電話による申し込みをしました。

入会后、色々な活動に参加させて頂いていますが、平均年齢70歳とは思えない元気で楽しく活動されているのに感心しました。また、竹細工製作意欲が高く色々教えて頂くことも多く参考にさせて頂いています。今後共よろしくお願ひします。



2015.11 入会 岡本久美子

2015.12 入会 石川せつみ



すでに会員になられていた「中村さん」の話しに感銘し、入会しました。

活動は未だ「たけのご整備」のみですが、なるべく会員親睦会には積極的に参加したく思いますので、皆さんよろしくお願ひ致します。

2015.12 入会 中川フミ

中川フミと申します。小林喜美代さんを通じて八幡たけくらぶとのご縁を頂き、2015年12月から参加させて頂いております。



こちらのメンバーの皆さんは多彩な才能をお持ちで、過去の経歴も様々。お元気そうに、陽気に過ごしておられるのが素敵です。「展望の館」の売店の当番の時に聞かせていただくよもやま話も興味深く伺っております。

個人的には絵付けの竹炭を出品しております。季節を先取りした図柄の絵に精進したいと思います。今後ともよろしくお願ひいたします。

2016.01 入会 和田正也 吉川和子

2016.04 入会 脇澤和夫 藤田紗希 北牧友紀 安西 舞

2016.04 入会 奥原千代子

3月に開催された竹炭一般公募に参加したのが、入会のきっかけになりました。また、竹を切って花器の製作もさせて頂き良かったです。竹林整備の方は健康に良さそうなので、最低でも月1回は参加をするようこれからも頑張ります。皆さん、宜しくお願ひ致します。

2016.04 入会 高木正明 神崎理々子

2016.05 入会 吉田昌博

2016.06 入会 高橋直子

2016.07 入会 南野欣也

2016年4月末に会社を定年退職。事務局の小林さんの紹介で「奉仕活動を通じ地域と共存共生する八幡たけくらぶ」に共感し7月24日付で入会しました。

趣味は山歩きとボウリングですが、皆さんの素晴らしい竹細工を拝見し、私の趣味に加えられるよう、竹林整備をしながら勉強していきたいと思えます。



2016.10 入会 石井憲一

2016.10 入会 澤田博次

入会動機は、石清水八幡宮の朝6時30分ラジオ体操に参加しており、その道々竹藪の荒廃を感じており前会長西岡さんより、八幡たけくらぶの活動を知り、何か貢献することがあればと思い入会いたしました。

趣味は、釣り(溪流、アユの友釣り、海釣り)・ゴルフ。
他の活動として、NPO法人国際交流支援センター 理事長、京都フェンシング協会理事をしております。

2017.01 入会 猪狩正幸



昨年の島本町文化祭で竹の透かし彫りによる「竹あかり」を見る機会に出くわし、NPO 法人「京都・深草ふれあい隊 竹と緑」主催の「深草竹あかり」体験教室に参加しました。

「竹あかり」に魅力を感じ、続けてみようと思っています。

「八幡たけくらぶ」はその活動の為にもってこいの環境であると考え入会しました。入会后まだ僅かですのでご迷惑をおかけする事があると思えますのでご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

2017.01 入会 西牟田 梢

6歳になる息子と昨年の12月に初参加させて頂きました。都会で機械的な環境に囲まれ生活をしている息子が日々の遊びの中に機械的な偏った動きが多く、人の有機的な動きを息子に親せたかったのが私の参加の動機です。

そして先輩方に今迄知らなかった竹の事を実際に観て触れて教えて頂いたり、人と人が協力して関わる事を間近で感じさせて頂きました。

息子はその後、竹を伐る動きや竹を運ぶごっこ遊びの日々を過ごしています！



2年間活動実績・集計表

項目	2015年度(平成27年度)		
	回数	会員参加数	一般参加数
竹林整備活動	48	674	19
粉碎活動	26	218	0
展望台活動	152	1462	1
竹細工同好会	14	225	0
各種イベント	25	354	1151
会議・打合せ	50	710	0
安全講習会	1	11	0
懇親会・研修会	7	255	0
合計	323	3909	1171

項目	2016年度(平成28年度)		
	回数	会員参加数	一般参加数
竹林整備活動	59	780	5
粉碎活動	26	170	14
展望台活動	157	1558	0
竹細工同好会	9	178	0
燻竹同好会	9	41	0
各種イベント	31	404	1258
会議・打合せ	67	691	43
安全講習会	4	36	0
懇親会・研修会	7	276	0
合計	369	4134	1320

過去2年間の役員名簿

	2015年度 (H27年度)	2016年度 (H28年度)		2015年度 (H27年度)	2016年度 (H28年度)
理事	12名	11名	安全委員	12名	14名
理事長	森脇 勉	森脇 勉	委員長	寶田 延由	寶田 延由
副理事長	西岡 力	西岡 力	副委員長	熨斗 信治	熨斗 信治
同	熨斗 信治	熨斗 信治		秋津川 忠弘	秋津川 忠弘
同・会計	日高 正昭	日高 正昭		井藤 學	井藤 學
事務局長	三宅 洋	竹下 修史		大塚 萬次郎	大塚 萬次郎
理事	井藤 學	井藤 學		岡本 淳次	岡本 淳次
同	大塚 萬次郎	大塚 萬次郎		岡本 力夫	岡本 力夫
同	岡本 淳次	岡本 淳次		坂口 光正	坂口 光正
同	岡本 力夫	岡本 力夫		竹下 修史	笹倉 修
同	竹下 修史	小林 喜美代		日高 正昭	新宮 隆雄
同	寶田 延由	寶田 延由		船木 基志	竹下 修史
同	米澤 美代子			渡邊 勉	日高 正昭
運営委員	24名	24名			船木 基志
	森脇 勉	森脇 勉			渡邊 勉
	秋津川 忠弘	秋津川 忠弘	展望台管理委員	16名	15名
	東 藤人	東 藤人	委員長	西岡 力	西岡 力
	井藤 學	井藤 學	副委員長	森脇 勉	森脇 勉
	大塚 萬次郎	梅津 勉		秋津川 忠弘	秋津川 忠弘
	岡本 淳次	大塚 萬次郎		東 藤人	東 藤人
	岡本 力夫	岡本 淳次		井藤 學	井藤 學
	籠谷 正司	岡本 力夫		大塚 萬次郎	大塚 萬次郎
	甲村 孝昭	籠谷 正司		岡本 力夫	岡本 力夫
	小林 喜美代(書記)	甲村 孝昭		坂口 光正	坂口 光正
	後藤 文男	小林 喜美代(書記)		竹下 修史	竹下 修史
	笹倉 修	笹倉 修		船木 基志	船木 基志
	坂口 光正	坂口 光正		日高 正昭	平野 隆司
	新宮 隆雄	新宮 隆雄		平野 隆司	寶田 延由
	竹下 修史(議長)	菅原 博		寶田 延由	熨斗 信治
	鶴見 達也	竹下 修史(議長)		熨斗 信治	吉川 洋一
	西岡 力	坪倉 定		米澤 美代子	渡邊 勉
	熨斗 信治	鶴見 達也		渡邊 勉	
	日高 正昭	西岡 力	竹細工同好会	7名	9名
	船木 基志	熨斗 信治	代表世話人	日高 正昭	日高 正昭
	寶田 延由	日高 正昭	副代表	岡本 力夫	岡本 力夫
	三宅 洋	船木 基志	副代表	竹下 修史	竹下 修史
	米澤 美代子	寶田 延由		伊藤 繁	伊藤 繁
	渡邊 勉	渡邊 勉		大塚 萬次郎	大塚 萬次郎
事務局	6名	6名		岡本 淳次	岡本 淳次
事務局長	三宅 洋	竹下 修史		鶴見 達也	笹倉 修
	大塚 萬次郎	大塚 萬次郎			新宮 隆雄
	甲村 孝昭	甲村 孝昭			鶴見 達也
	小林 喜美代	小林 喜美代	燻竹同好会	6名	6名
	竹下 修史	菅原 博	代表世話人	東 藤人	東 藤人
	熨斗 信治	熨斗 信治		井藤 學	井藤 學
				大塚 萬次郎	大塚 萬次郎
				小林 喜美代	小林 喜美代
				竹下 修史	竹下 修史
				日高 正昭	日高 正昭

編集後記

たけくらぶ発足以来2年ごとに「会報」をまとめ、すでに6号まで発行してきました(会報1号～6号は、八幡市図書館、男山市民図書館で閲覧できます)。今回2015年～2016年の記録をまとめた会報7号を発行する運びとなりました。

発行に当たり編集委員会を2016年10月に立ち上げ、7回の委員会を開催してきました。パソコンが初めてのメンバーもあり、又、経験者も2年ぶりの編集とあって、パソコンの使い方も思い出しながらで、苦戦しつつも何とか発行までたどり着くことが出来ました。編集委員の皆さんのご苦勞に感謝すると共に、ご協力頂きました会員の皆様にも御礼申し上げます。

今回の会報発行にあたり、八幡市長・堀口文昭様、山城広域振興局農林商工部森づくり推進室長臼杵隆志様からのご寄稿を頂きました。花を添えて頂きましたこと、心より感謝申し上げます。

会の活動趣旨に賛同し集まった会員も三桁を超え、かつ、近隣の県や、遠くは熊本県、千葉県、栃木県からも会員になって頂いていますが、この会報のおかげで、新入会員もたけくらぶの歴史や、活動内容が良く分かり、たけくらぶになじみやすくなっていると思います。良き伝統は、語り継がれて守られるものですが、その役割も果たしているといえます。今後も「お役立ち」を基本に活動を進めてまいりたいと思いますので、一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

編集責任者 森脇 勉

—編集委員(五十音順)—

籠谷 正司、甲村 孝昭、小林 喜美代、坂口 光正、竹下 修史、森脇 勉

発行日 2017年5月
発行責任者 特定非営利活動法人 八幡たけくらぶ 理事長 森脇 勉
住所 京都府八幡市八幡平ノ山85(男山 展望の館)
電話番号 075-982-3695
Email ytc2016@cap.ocn.ne.jp(八幡たけくらぶ)
ホームページ:URL:<http://www.ytc03.jp/>

